

不動産業業況等調査（平成30年4月）*1

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	20.3 p	2.7 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 3.1 p	6.9 p ↑
ビル賃貸業	16.0 p	8.0 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	△ 6.3 p ↓
不動産流通業（住宅地）	0.0 p	7.8 p ↑
ビル賃貸業	0.0 p	4.0 p ↑

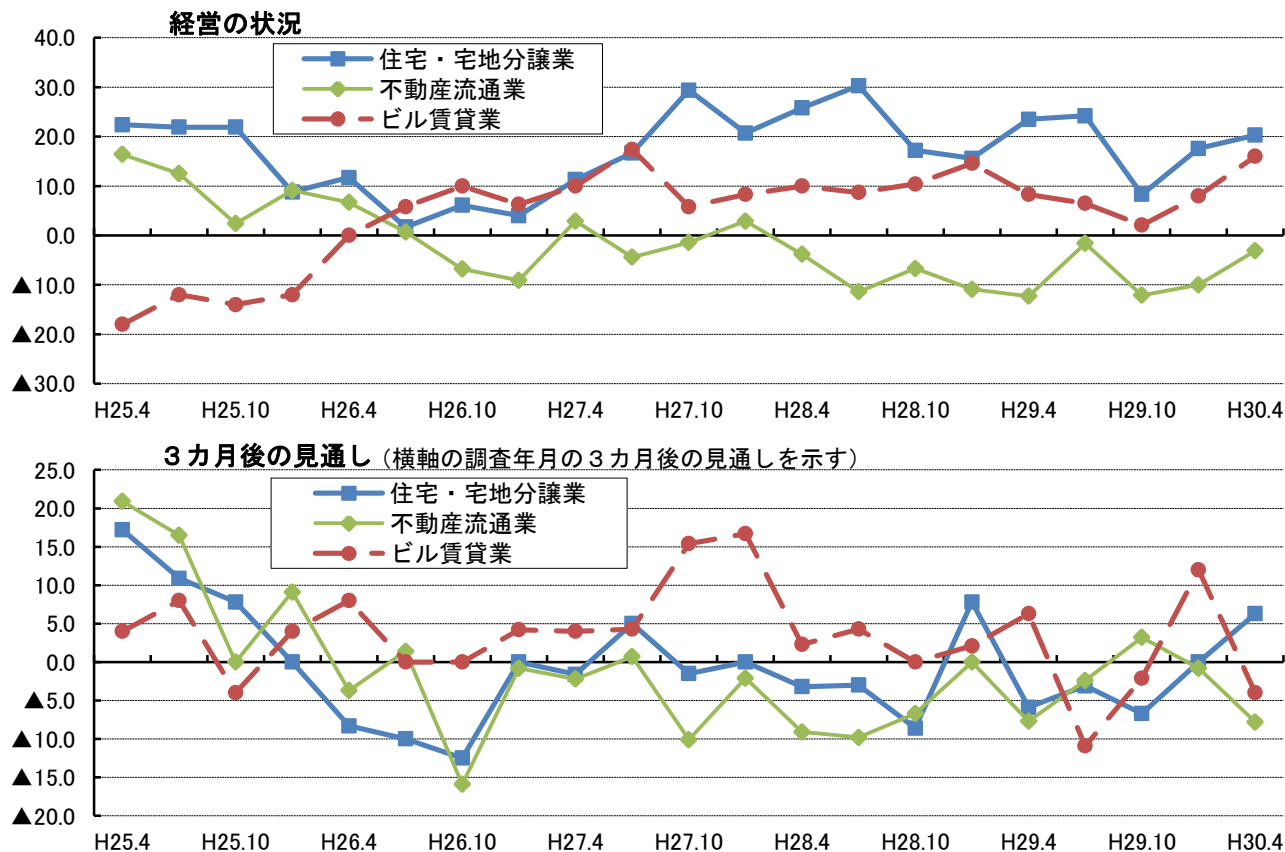
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 2.7p 改善し 20.3p。21期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から 6.9p 改善し ▲3.1p。9期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から 8.0p 改善し 16.0p。16期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業で改善、不動産流通業およびビル賃貸業は悪化。ビル賃貸業は2期ぶりにマイナス水準に転じた。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」